



## 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月26日

上場会社名 タツタ電線株式会社  
コード番号 5809 URL <https://www.tatsuta.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 宏也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 今井 雅文

TEL 06-6721-3011

四半期報告書提出予定日 2023年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	15,445	4.8	540	64.8	598	36.8	453	40.3
2023年3月期第1四半期	14,732	3.2	327	49.4	437	38.9	323	38.6

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 594百万円 ( %) 2023年3月期第1四半期 18百万円 ( 105.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2024年3月期第1四半期	7.34	
2023年3月期第1四半期	5.23	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2024年3月期第1四半期	58,351	48,476	83.1	784.66
2023年3月期	58,457	47,882	81.9	775.04

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 48,476百万円 2023年3月期 47,882百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2023年3月期		9.00		0.00	9.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

2022年12月21日付けで公表した「ENEOSホールディングス株式会社の完全子会社(JX金属株式会社)による当社株式に対する公開買付けの開始予定に関する意見表明のお知らせ」でお知らせしましたとおり、当社株式は上場廃止となる予定であるため、2024年3月期の連結業績予想は記載しておりません。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	70,156,394 株	2023年3月期	70,156,394 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	8,376,182 株	2023年3月期	8,376,022 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	61,780,332 株	2023年3月期1Q	61,781,247 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・2022年12月21日付けで公表した「ENEOSホールディングス株式会社の完全子会社(JX金属株式会社)による当社株式に対する公開買付けの開始予定に関する意見表明のお知らせ」でお知らせしましたとおり、当社株式は上場廃止となる予定であるため、2024年3月期の連結業績予想は記載しておりません。
- ・決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが5類へ移行され、経済活動が正常化に向かうとともに、企業収益、設備投資、生産、個人消費等の各面で緩やかな持ち直しが続きました。世界経済も一部の地域において弱さがみられるものの、同感染症の影響が緩和される中で持ち直しが続くことが期待されている状況にあります。しかしながら、世界的な金融引き締めが進む中での金融資本市場の変動や物価上昇、高水準で推移する資源価格や原材料価格、ロシア・ウクライナ情勢の長期化の影響等、依然として先行き不透明な状況が続いています。

当社製品の主要原料である銅の当第1四半期連結累計期間の国内建値平均価格は、前年同期をやや下回る水準となりました。

この間において、国内銅電線の需要は概ね前年同期並みの水準で推移する一方で、産業機器電線分野では一部向け先で需要の鈍化もみられました。機能性フィルムの主要用途であるスマートフォンの販売量は世界的な物価上昇、中国を中心とした景況悪化等により低迷し、素材需要もその影響を受けました。

こうした環境のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は15,445百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は540百万円（前年同期比64.8%増）、経常利益は598百万円（前年同期比36.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は453百万円（前年同期比40.3%増）となりました。

当社は、本第1四半期決算短信の提出日現在、株式会社東京証券取引所に上場しておりますが、2022年12月21日付けで公表した「ENEOSホールディングス株式会社の完全子会社（JX金属株式会社）による当社株式に対する公開買付けの開始予定に関する意見表明のお知らせ」でお知らせしましたとおり、各国競争法上のクリアランスの見込みが立ち次第JX金属株式会社は当社株式に対する公開買付けを開始する予定です。

なお、2023年6月30日付けで公表した「（開示事項の経過）ENEOSホールディングス株式会社の完全子会社（JX金属株式会社）による当社株式に対する公開買付け実施に向けた進捗状況のお知らせ」でお知らせしましたとおり、JX金属株式会社としては、日本における競争法に基づき必要な手続及び対応は完了したものの中国競争法に基づく必要な手続及び対応が完了していないため、本公開買付けが開始される時期は早くとも2023年8月以降になると見込んでいるとのことです。

本公開買付け及びその後の一連の取引により当社は公開買付者の完全子会社となり、上場廃止となる予定です。

今後、両社の経営資源の効率的活用、電子材料分野における事業競争力の更なる強化、電線・ケーブル分野の事業基盤の強化等の事業シナジーを具現化し、企業価値向上に努めてまいります。

セグメントごとの業績の概況は次のとおりです。

#### <電線・ケーブル事業セグメント>

銅価格高止まりによる買い控えの継続、産業機器電線における需要の鈍化はありましたものの、インフラ電線において建設電販分野を中心に増販（前年同期比8.5%増）となったこと、さらには原材料価格高騰による販売価格の見直しが浸透しつつあること等により、売上高は11,059百万円（前年同期比11.4%増）となりました。営業利益は上記に加え、品種構成改善、コスト削減等に努めた結果、342百万円（前年同期は166百万円の損失）となりました。

<電子材料事業セグメント>

当社主力製品である機能性フィルムは、主要用途であるスマートフォンの買い替え需要の長期化等により生産台数も低水準で推移したこともあり販売量が減少（前年同期比10.7%減）し、売上高は3,835百万円（前年同期比9.3%減）、営業利益は403百万円（前年同期比37.3%減）となりました。

<その他事業セグメント>

医療機器部材は新規製品の拡販もあり増収となりましたが、センサー、環境分析の各事業では需要停滞、諸コストの増加もあり、売上高は557百万円（前年同期比4.3%減）、営業利益は34百万円の損失（前年同期は45百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前期末に比べ106百万円減少し、58,351百万円となりました。これは、短期貸付金が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少したこと等によるものです。

負債の部は、前期末に比べ700百万円減少し、9,875百万円となりました。これは、未払費用および未払金が減少したこと等によるものです。

純資産の部は、前期末に比べ594百万円増加し、48,476百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上およびその他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前期末に比べ1.2ポイント上昇し、83.1%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月21日付けで公表した「ENEOSホールディングス株式会社の完全子会社（JX金属株式会社）による当社株式に対する公開買付けの開始予定に関する意見表明のお知らせ」でお知らせしましたとおり、当社株式は上場廃止となる予定であるため、2024年3月期の連結業績予想は記載しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,246	1,452
受取手形及び売掛金	20,973	20,351
製品	3,852	3,590
仕掛品	6,653	6,139
原材料及び貯蔵品	1,822	1,935
短期貸付金	4,611	5,311
その他	613	671
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	39,761	39,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,508	8,384
機械装置及び運搬具（純額）	3,032	3,005
工具、器具及び備品（純額）	371	361
土地	3,721	3,721
建設仮勘定	295	629
有形固定資産合計	15,929	16,101
無形固定資産		
ソフトウェア	136	126
ソフトウェア仮勘定	15	17
施設利用権	4	4
その他	1	1
無形固定資産合計	157	149
投資その他の資産		
投資有価証券	1,067	1,171
長期前払費用	0	0
繰延税金資産	1,190	1,141
その他	521	510
貸倒引当金	△169	△164
投資その他の資産合計	2,609	2,659
固定資産合計	18,696	18,911
資産合計	58,457	58,351

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,279	4,165
未払金	1,243	801
未払費用	1,381	775
未払法人税等	87	210
その他	939	1,248
流動負債合計	7,931	7,201
固定負債		
長期借入金	900	900
退職給付に係る負債	1,572	1,620
資産除去債務	42	38
繰延税金負債	1	5
その他	127	109
固定負債合計	2,644	2,673
負債合計	10,575	9,875
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,676	6,676
資本剰余金	4,516	4,516
利益剰余金	38,792	39,245
自己株式	△2,459	△2,459
株主資本合計	47,525	47,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	249	331
繰延ヘッジ損益	131	181
為替換算調整勘定	△55	△48
退職給付に係る調整累計額	31	33
その他の包括利益累計額合計	356	497
純資産合計	47,882	48,476
負債純資産合計	58,457	58,351

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	14,732	15,445
売上原価	12,016	12,532
売上総利益	2,715	2,913
販売費及び一般管理費	2,387	2,372
営業利益	327	540
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	12	11
為替差益	80	40
その他	16	7
営業外収益合計	113	61
営業外費用		
支払利息	1	2
その他	2	0
営業外費用合計	3	3
経常利益	437	598
特別利益		
投資有価証券売却益	-	23
ゴルフ会員権売却益	-	0
固定資産売却益	0	2
特別利益合計	0	26
特別損失		
固定資産廃棄損	1	0
公開買付関連費用	-	12
特別損失合計	1	13
税金等調整前四半期純利益	436	611
法人税、住民税及び事業税	107	164
法人税等調整額	5	△6
法人税等合計	113	157
四半期純利益	323	453
親会社株主に帰属する四半期純利益	323	453



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	323	453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	82
繰延ヘッジ損益	△393	49
為替換算調整勘定	13	7
退職給付に係る調整額	4	1
その他の包括利益合計	△341	141
四半期包括利益	△18	594
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18	594

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

原材料費及び加工費の原価差異については、流動資産に繰り延べております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	電線・ ケーブル事業	電子材料事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,926	4,228	14,155	576	14,732	—	14,732
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	6	6	△6	—
計	9,926	4,228	14,155	582	14,738	△6	14,732
セグメント利益 又は損失(△)	△166	642	476	45	522	△194	327

- (注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、センサー&メディカル事業、環境分析事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△194百万円は、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△197百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	電線・ ケーブル事業	電子材料事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,059	3,835	14,894	550	15,445	—	15,445
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	7	7	△7	—
計	11,059	3,835	14,894	557	15,452	△7	15,445
セグメント利益 又は損失(△)	342	403	745	△34	710	△170	540

- (注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、センサー&メディカル事業、環境分析事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△170百万円は、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△173百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。